

**過労死等防止対策等労働条件に関する啓発事業
(中学、高等学校等への講師派遣支援事業)**

報告書

令和3年3月

株式会社 プロセスユニーク

2.2.3. 学校への講師派遣状況

事業案内を行い、講師派遣依頼書の送付があった学校（中学校、高等学校、大学、専門学校等）に対し、講師を派遣して過労死等労働条件に関する啓発授業を実施した。講演実施回数は以下のとおり。

地域別回数

北海道地区	6
東北地区	0
関東地区	92
中部地区	31
近畿・北陸地区	25
中国・四国地区	4
九州地区	3
合計	161

学校種別回数

大学	47
短期大学	1
専門学校	23
高等学校	69
高校・中学	0
中学校	21
合計	161

地域別中止回数

北海道地区	0
東北地区	0
関東地区	11
中部地区	1
近畿・北陸地区	3
中国・四国地区	1
九州地区	0
合計	16

学校種別中止回数

大学	1
短期大学	0
専門学校	3
高等学校	4
高校・中学	2
中学校	6
合計	16

実施日、実施校、参加人数は、次の（表3）実施校一覧のとおり。
全国各地の中学校、高等学校、専門学校、大学、計161回で14,708名に受講してもらい、過労死防止等、労働条件に関する啓発・周知を行うことができた。

3. 分析

3.1 学校用実績報告書回収結果

有効回答数は、46件であった。それぞれの質問から得られた回答を整理すると以下のとおりとなった。

1. 今回の授業の対象者の学年、参加人数を教えてください。(学年は複数回答可)

【学 年】 a. 1 年 b. 2 年 c. 3 年 d. 4 年 e. その他)
(※その他の場合は具体的に :

【参加人数】 a. 20 人以下 b. 21~30 人 c. 31~40 人 d. 41~50 人
 e. 51 人以上 (具体的な人数 : 人)

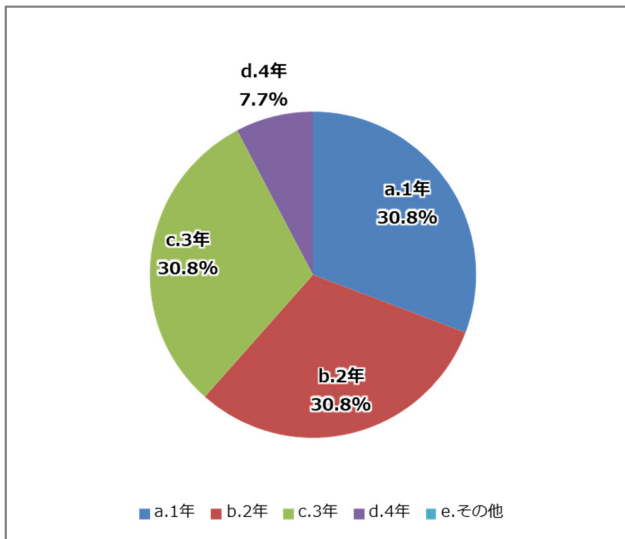
【学年】

大学	a. 1 年	4	短期大学	a. 1 年	1	専門学校	a. 1 年	4
	b. 2 年	4		b. 2 年	0		b. 2 年	7
	c. 3 年	4		c. 3 年	0		c. 3 年	3
	d. 4 年	1		d. 4 年	0		d. 4 年	2
	e. その他	0		e. その他	0		e. その他	1
高等学校	a. 1 年	4	中学	a. 1 年	1			
	b. 2 年	7		b. 2 年	1			
	c. 3 年	19		c. 3 年	0			
	d. 4 年	0		e. その他	0			
	e. その他	0						

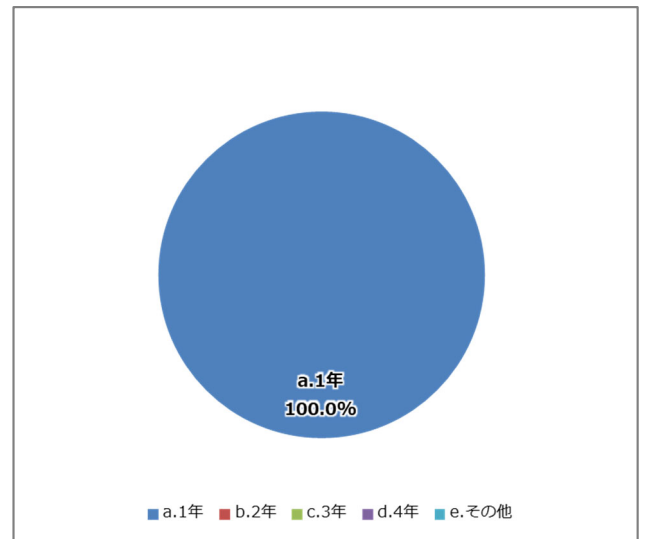
【参加人数】

選択肢	件数
a. 20人以下	3
b. 20~30人	4
c. 30~40人	9
d. 40~50人	4
e. 50人以上	26

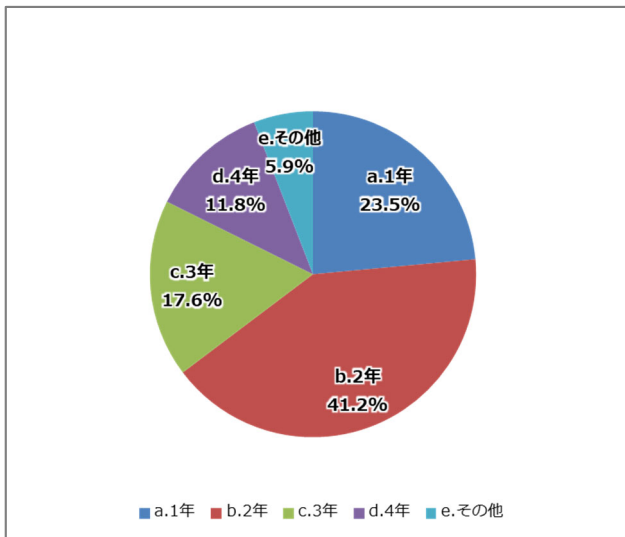
(大学参加学年)



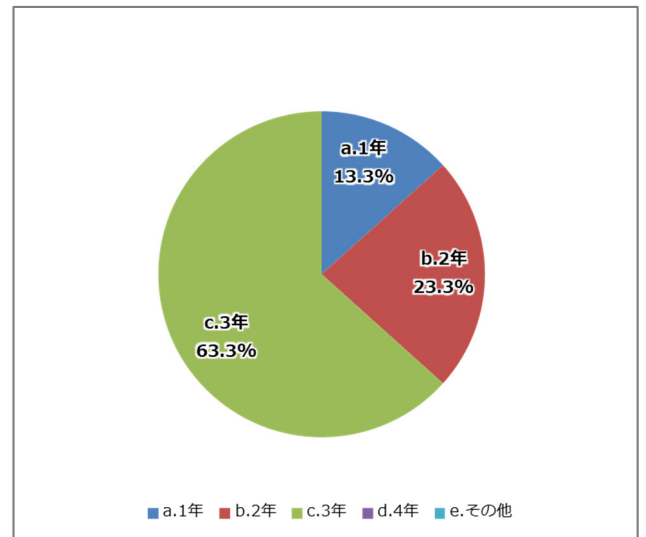
(短期大学参加学年)



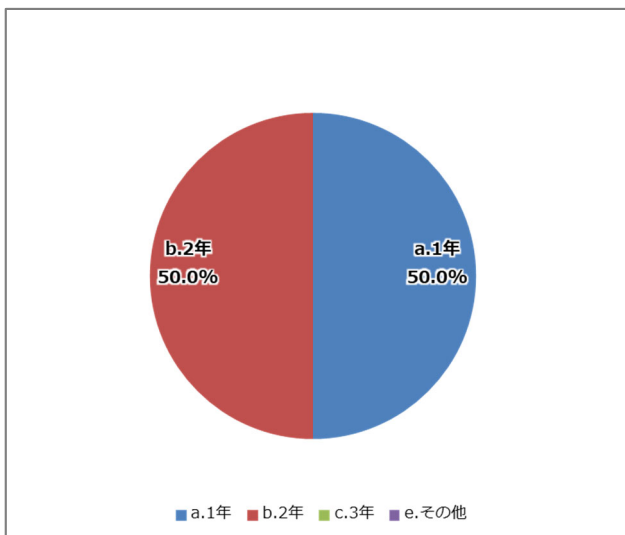
(専門学校参加学年)



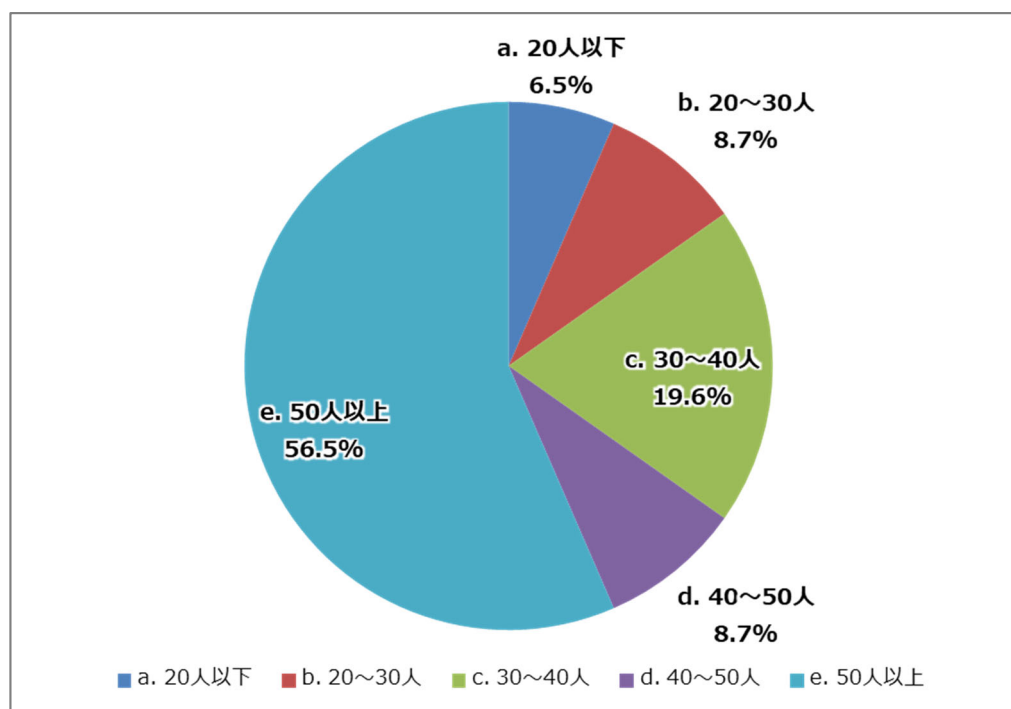
(高等学校参加学年)



(中学校参加学年)



(参加人数)

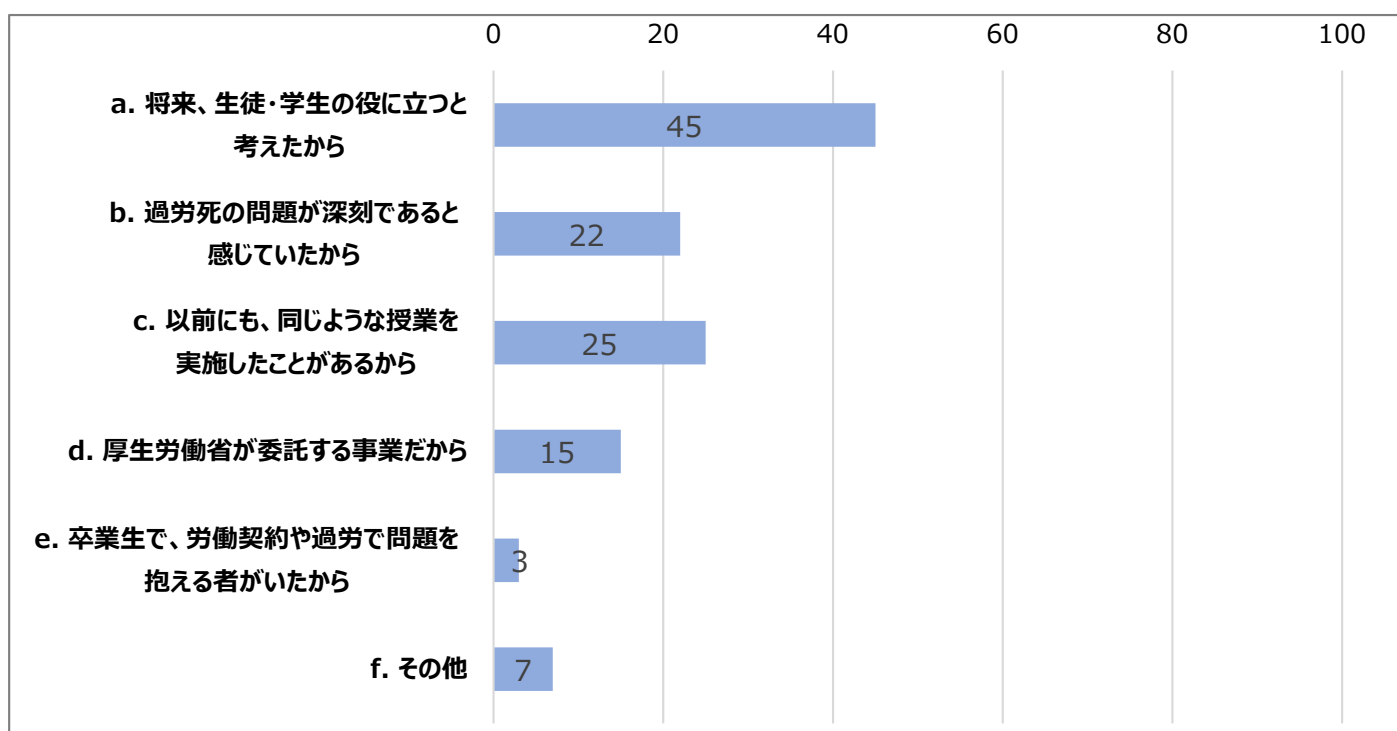


2. 今回、啓発授業の申込みをされた理由は何ですか。(複数回答可)

- a. 将来、生徒・学生の役に立つと考えたから
- b. 過労死の問題が深刻であると感じていたから
- c. 以前にも、同じような授業を実施したことがあるから
- d. 厚生労働省が委託する事業だから
- e. 卒業生で、労働契約や過労で問題を抱える者がいたから
- f. その他 ()

選択肢	件数
a. 将来、生徒・学生の役に立つと考えたから	45
b. 過労死の問題が深刻であると感じていたから	22
c. 以前にも、同じような授業を実施したことがあるから	25
d. 厚生労働省が委託する事業だから	15
e. 卒業生で、労働契約や過労で問題を抱える者がいたから	3
f. その他	7

(※複数回実施校から提出された、回答が同一のアンケートは1件としてカウント)



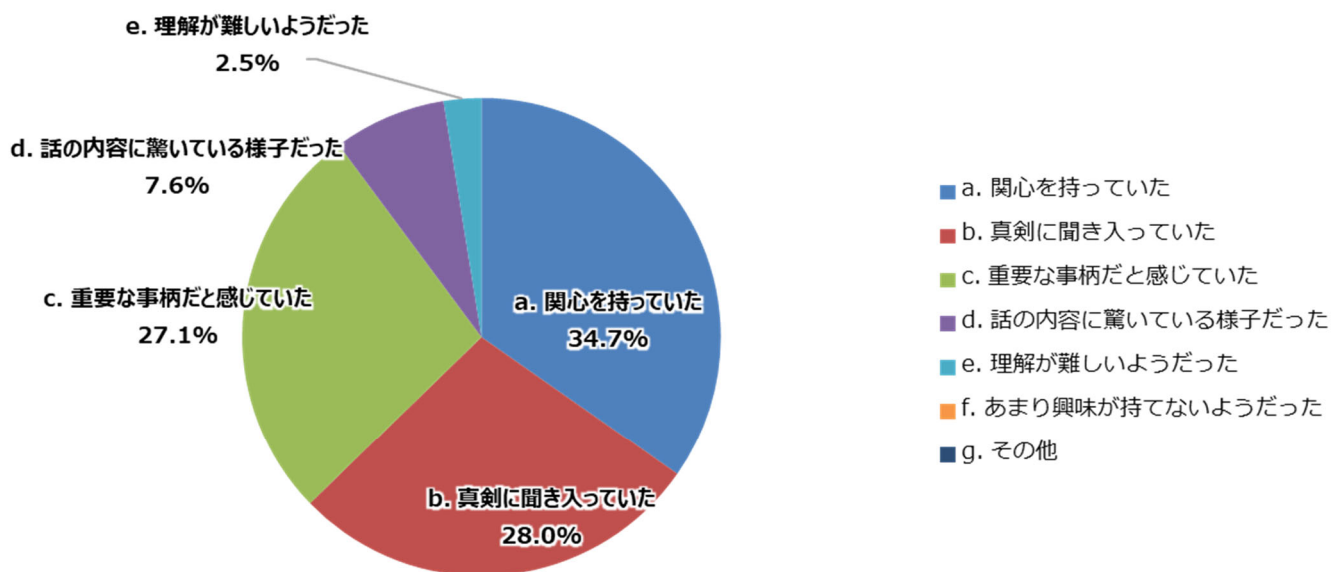
その他の理由として、

- ・ キャリア教育の1コマに活用させていただいた。
- ・ これから労働法について学ぶにあたり、真剣に取り組んで欲しいと思っていたので導入として取り入れました。
- ・ 弁護士の仕事について教えてもらいたいから。
- ・ 卒業後、日本ではたらく外国人留学生への啓発

3. 生徒・学生の反応はどうでしたか。(複数回答可)

- a. 関心を持っていた
- b. 真剣に聞き入っていた
- c. 重要な事柄だと感じていた
- d. 話の内容に驚いている様子だった
- e. 理解が難しいようだった
- f. あまり興味が持てないようだった
- g. その他 ()

選択肢	件数
a. 関心を持っていた	41
b. 真剣に聞き入っていた	33
c. 重要な事柄だと感じていた	32
d. 話の内容に驚いている様子だった	9
e. 理解が難しいようだった	3
f. あまり興味が持てないようだった	0
g. その他	0

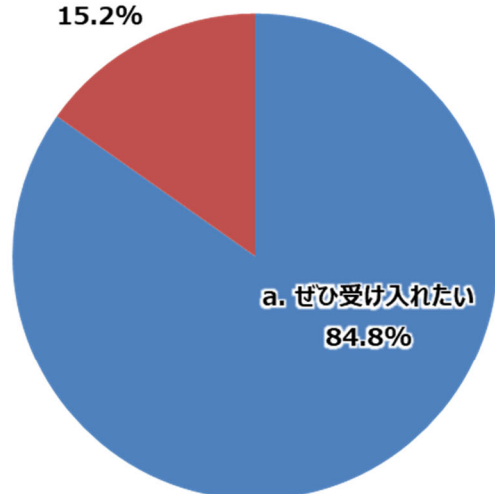


4. 今後も機会があれば、過労死、労働条件に関する啓発授業を受け入れたいですか。

a. ぜひ受け入れたい b. 受け入れてもよい c. 受け入れたくない

選択肢	件数
a. ぜひ受け入れたい	39
b. 受け入れてもよい	7
c. 受け入れたくない	0

b. 受け入れてもよい
15.2%



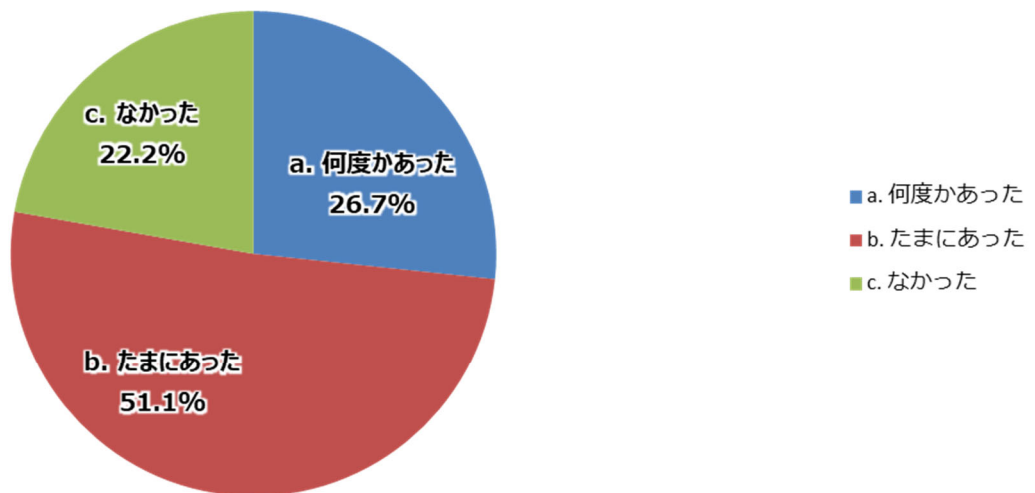
a. ぜひ受け入れたい
84.8%

■ a. ぜひ受け入れたい
■ b. 受け入れてもよい
■ c. 受け入れたくない

5. 授業を受ける以前から、過労死、労働条件についてお話する機会がありましたか？

- a. 何度かあった b. たまにあった c. なかった

選択肢	件数
a. 何度かあった	12
b. たまにあった	23
c. なかった	10



a. 特になかった b. 通常授業との時間のやりくり c. 授業の受け入れ時期の調整
d. テーマが難しい e. テーマが重い
f. その他（ ）

理由	回数
a. 特になかった	22
b. 通常授業との時間のやりくり	9
c. 授業の受け入れ時期の調整	11
d. テーマが難しい	1
e. テーマが重い	3
f. その他	10

- ・ 今年はコロナの影響で日程変更が多く、場所も対策上体育館で50分となった。
- ・ コロナ対応。
- ・ 遠隔での実施方法。特に学生側が個々につなげる環境がなかったのだ。
- ・ 2年生を対照に実施したが、就活と重なって欠席者が多数だったこと。
- ・ 過労死についてが中心だったので、全般の法についてかえていただきました。
- ・ 今年度はコロナ禍による実施の可否の判断に迷いました。
- ・ コロナに際して全校で集会が行えないこと。

7. その他、ご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

その一部を紹介する。

(感想)

- ・ 貴重なお話が聞けて私たち職員の勉強になりました。また来年も実施を検討させて頂きたいと思っています。ありがとうございました。
- ・ アルバイトの経験がある子は、自分の労働状況と照らし合わせて熱心に聞いていました。ワークルールを身につける事は、自分の身を守る事にもなるのでしっかり身につけていってほしいと思いました。本日はありがとうございました。
- ・ 被害者のご遺族のお話しが聞いたことが良かったです。今後も年1回は開催したいと考えています。
- ・ 講演終わった後、多くの生徒（特に女子）が質問に訪れていた。また、お願いします。大変お世話になりました。
- ・ 弁護士の方から具体的な働き方のルールを教えていただき、そのあと、ご遺族の方からのお話を聞かせていただきました。特に、ご遺族の方のお話は、心にささるもので涙なしには聞いていられませんでした。生徒のアンケートも9割以上が「非常に良かった」「良かった」と答えていました。大変貴重な機会を提供していただきありがとうございました。
- ・ 生徒は大変有意義な時間だと言っておりました。またよろしくお願いいたします。
- ・ 今年はコロナ禍もあり、事情が違ったかもしれないが、各学校への周知をしてほしい。
- ・ 大変貴重な講義をいただきまして誠にありがとうございました。教育学部では、ほとんどの学生が教員の労働条件や過労死に関する問題を講義で聴く機会がないため、元小学校教員であり、また、中学校教員であったパートナーを過労死で無くされた工藤祥子さんのご講義は、教員養成の学生達にとって「自分事」として聴くことのできる貴重な機会となりました。できれば、毎年このような講義を工藤さんをお願いしたいため、この啓発事業については長期的に継続いただきと思う次第です。
- ・ 本校の生徒でもわかりやすく、参加しやすい形で講演していただき、ありがとうございました。
- ・ コロナ禍のため、昨年実施していただいたようなグループワークを取り入れることはできませんでしたが、学生たちは、労働条件を学ぶ必要性について理解できたと思います。
- ・ 今回の啓発授業をきっかけに、生き生きと働くとはどういうことか、学生と共に学ぶ時を設けたいと思います。ありがとうございました。

3.2 生徒・学生からの感想

任意で生徒・学生向けアンケートを実施した。問1についてはそれぞれ校種ごとに分類し集計を行った。

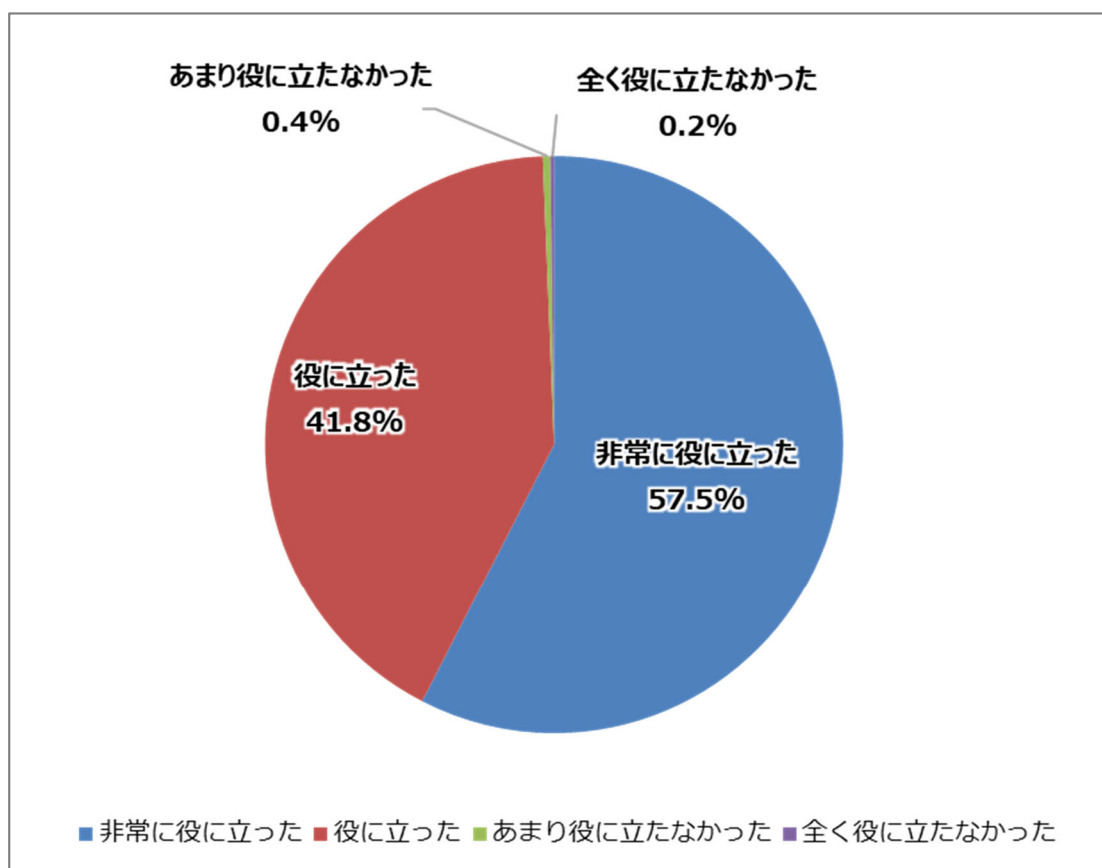
問2については自由記述となっており、校種ごとに一部を抜粋して掲載する。

1. 今日の授業についての印象をお聞かせください。

- | | |
|---------------|--------------|
| ・ 非常に役に立った | ・ 役に立った |
| ・ あまり役に立たなかった | ・ 全く役に立たなかった |

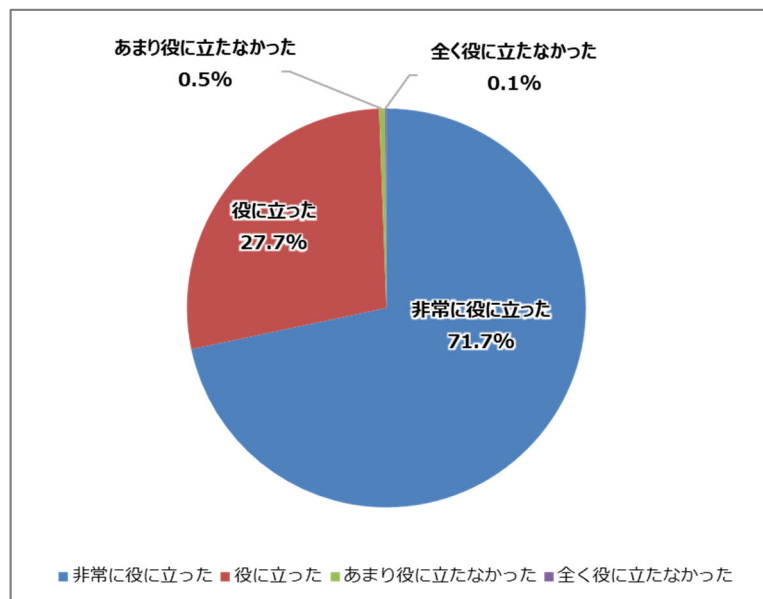
選択肢	大学	短期大学	専門学校	高等学校	中学校	全体
非常に役に立った	1,458	71	326	2,061	115	4,031
役に立った	564	52	402	1,826	86	2,930
あまり役に立たなかった	10	0	1	19	0	30
全く役に立たなかった	2	0	0	12	0	14

(全体)



(大学)

選択肢	件数
非常に役に立った	1,458
役に立った	564
あまり役に立たなかった	10
全く役に立たなかった	2

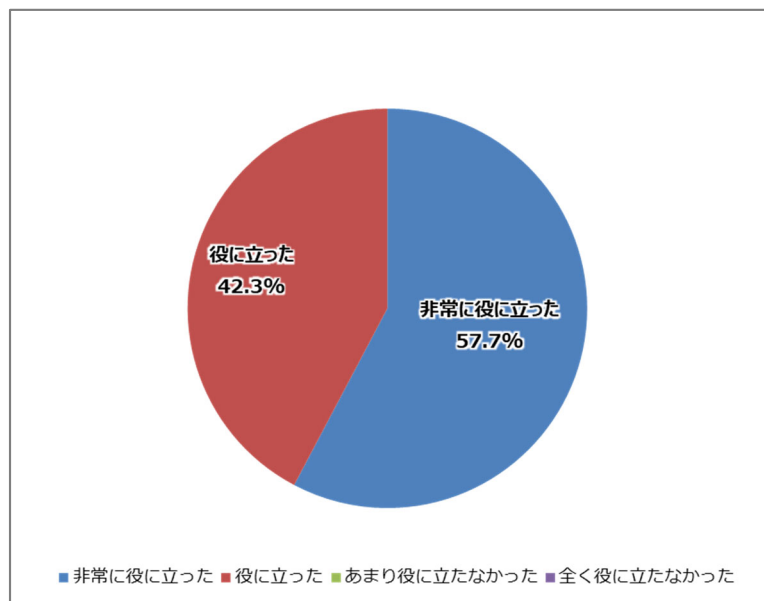


2. 今日の授業の感想を自由にお書きください。

- 日本は精神論が強いということが分かりました。無言の同調圧力が職場にはびこっていることが分かりました。生きるためにしている仕事や労働が理由で生きられなくなるなんて、間違ったことだと改めて思いました。
- これまでの授業は女性は男性と同じくらい働けないや採用されないなど、働く前の段階で不利だったが今回の講義では男性と同じ仕事を任されたが結果を出さないと地方に飛ばされてしまうというプレッシャーから休めないのは働きにくい社会だと痛感した。風邪薬のCMで「仕事で休めない日」について取り上げていたが、効果目的が的確だとはかかっていなかったが、過重労働によって引き起こした頭痛に対しての風邪薬はやはり違うと感じた。現在コロナにより体調変化があった場合は安易に休めるようになったのでこれを機に仕事で休めないという風習を変えていかなければならないのではないだろうか。
- 私自身、記者になりたいと考えていて今回、佐戸さんのお話を聞いて私も働き方について改めて深く考えさせられました。もっと社会が働き方を改善し、過労死をなくさなければいけないと感じました。
- 日本は他国に比べ労働時間が圧倒的に長く過労死のリスクが高いのに日本では全く報道されたり危険であるという警告もされないことがまず一番の問題なんだと佐渡様のお話を聞いて思いました。またお話の最後に1番の親孝行者が1番の親不孝者になってしまったというお言葉は過労死の被害にあってしまった方の遺族の方が思う辛い共通のことなんだろうとも思いました。弁護士の笠置さんが労働時間を企業が知っていればと仰っていたのですが労働時間が長いと分かっているにもかかわらず周りの競争に負けたくないという思いから労働をやめようとは思えないんだろうなとも思い、だからこそ不必要な業務を減らすべきなんだと思いました。
- 実際の過労死を体験されたご遺族の佐戸さん、そして弁護士の笠置さんのお話を聞いて、過労死というものがとても身近に感じました。佐戸さんのお話を聞くと、私自身精神疾患に罹ってしまい外出できない程繊細なので、働くことに恐怖を感じました。ですが、笠置さんのお話にあった「人の命より大切な仕事はない」という言葉や対策を聞いて、とても希望が見えました。また、佐戸さんのお話にあったように、自分がもし過労死したら家族が悲しむ、ということも感じ、絶対に過労死しないように自分の周りも過労死しないように努めたいです。嫌われる勇気を持って自分を守って社会に進出したいと感じました。

(短期大学)

選択肢	件数
非常に役に立った	71
役に立った	52
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0

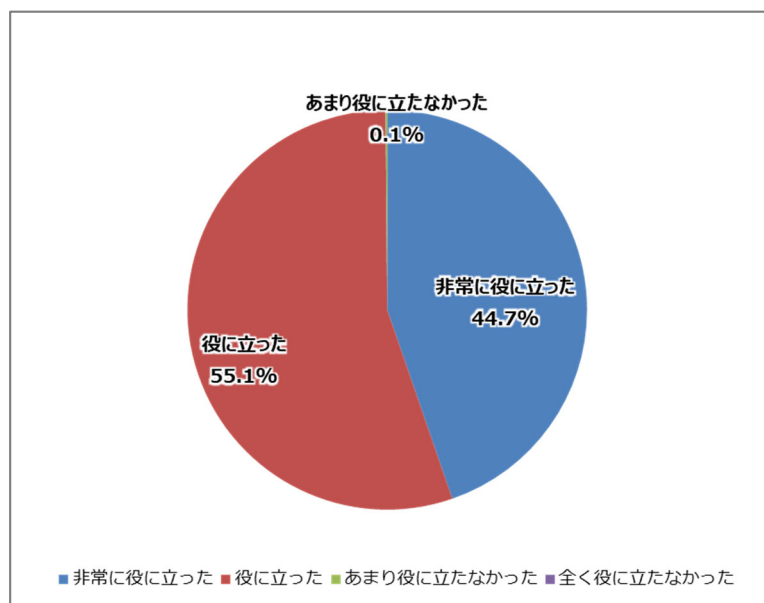


2. 今日の授業の感想を自由にお書きください。

- 現代は過労死で命を落とす人がいることから自分自身を大切にすることの重要性を再認識しました。また、ブラックな環境の職場だったら小倉先生をたずねたいと思いました。そしてGPSをつけておくことの大切さを学びました。
- 過労死はとても悲しいことだと思った。過労死を無くすために、有給が100%取れる環境がとても大切だと感じた。まわりの人に相談して、つらいな・おかしいなと思ったときに頼るようにしようと思った。
- 過労は正常な思考を変えてしまうほど恐ろしいものだと感じました。また、労働のきちんとしたルールをしっかりと理解し、自身が過労死してしまうことがないよう、自分自身を大切にすることの心構えを忘れないようにしていこうと思いました。
- 今日の授業で、長時間労働の怖さを改めて知りました。労働基本法で労働時間が定められているにもかかわらず、それを大きく超えて、仕事を行う企業が多く存在することにとってもおどろきました。今日の授業で学んだことを生かし、自分が社会人になったときにワークルールをしっかりと学び、1人で抱え込まず、誰かと助け合いながら、仕事をこなしていこうと思いました。
- 実際に過労を経験した人から体験談をお聞きすることができてとても勉強になりました。将来、就職をする際は色々を見てから就職しようと思いました。
- 過労になると「あたりまえ」の選択肢がみえなくなることが印象に残りました。辛い時は、まだ大丈夫と自分に頑張らせすぎず、身近な人に相談したいと思います。また、自分自身・家族・友人が過労にあった場合に正しい対処ができるよう、手助けができるよう、法律や社会保障制度について理解を深めたいと思います。命、自分を大切にします。
- 保育者に起こる問題も言ってくれたので、将来に非常に役立つと思った。残業代についてあまり考えたことがなかったので、就活しながら考えようと思った。
- 労災や過労死についてほぼ知識がなかったので、当事者の方や弁護士の方の詳しい話を聞くことができてとても参考になりました。自分が当事者になったときにこまらないようにこれからも知識をみにつけていきたいです。

(専門学校)

選択肢	件数
非常に役に立った	326
役に立った	402
あまり役に立たなかった	1
全く役に立たなかった	0

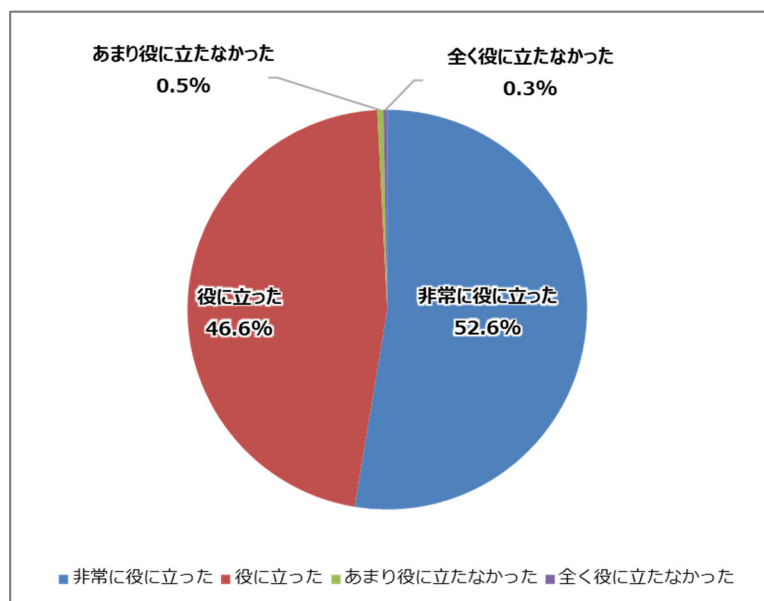


2. 今日の授業の感想を自由にお書きください。

- 過労死という言葉はニュース等でよく聞いたことがあったが、もし自分がその立場になったら、自分の親になにかあったらというのは考えたことがなかった。これから自分も就職なので自分の命を守れるようにして行きたいと思う。今日、お話をきけて良かったです。
- 授業を通して、本当に他人事ではないと思いました。いつ自分が、家族が、友達が過労死するか分からのので、今日授業で学んだことを身近な人に伝えようと思います。また、つらくなったら休むということを忘れずに仕事したいと思います。
- 実際に話を聞いて、当事者の話を自分人身で考え、他人事ではないと思った。
- 私の大切な友人が、今仕事でうつ病と社会不安障害を発症していて休養しています。今は落ち着いているけど離れた場所にいるので、辛い時に傍にいれないのがすごく辛かったです。今回話を伺って、なくなった方も亡くした方もすごく辛い思いをされていると思いました。話を伺えたことでこれからも友人を支えていこうと思いました。今回はありがとうございました。
- 過労死の事態は日常で触れることの少ない話題であり、当事者家族の方や弁護士さんから直接お話を聞かせて頂けて本当に貴重な体験をさせて頂きました。労働基準法の内容を知っていても、実際は職場の雰囲気や熱心な方だと尚更、仕事だからと心と体を蝕んでいることに気づかないのだと感じた。これ以上仕事で命を失う人が出ないように私も自分を大切にしたいし、家族や友人に対しても気かけられるようにしたい。本日はありがとうございました。

(高等学校)

選択肢	件数
非常に役に立った	2,061
役に立った	1,826
あまり役に立たなかった	19
全く役に立たなかった	12

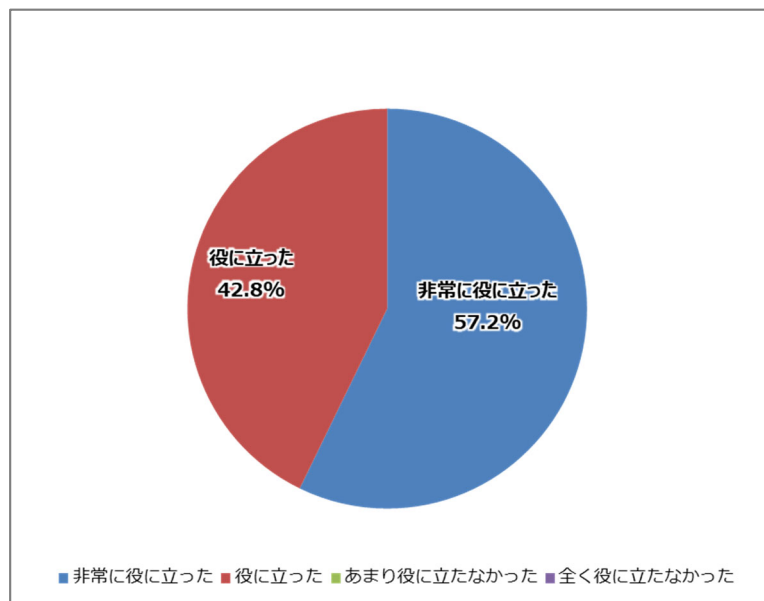


2. 今日の授業の感想を自由にお書きください。

- 将来自分にもおきるかもしれないと、恐怖を感じました。今回、教えて頂いた知識を忘れないようにしたいです。今日はありがとうございました。
- 来年から自分は社会人になるので、働いて違和感を感じたりしたら、すぐに身近な人に相談して悩みを解消したいと思います。
- 他人事じゃないと思いました。もうすぐ自分も働くので気をつけたいと思いました。
- 今後、自分がこの問題に直面するかもしれないし、相談されるかもしれないので、役に立たせたい。自分の知らない事ばかりだったので今回の授業で知れたことがたくさんあっていい経験になった。
- 労働について大切なことが学べたので良い時間でした。
- 困ったら誰かに相談する大切さや、法律や色んなことを学んでおくことが重要だと感じました。
- 仕事との向き合い方、会社との向き合い方などを知ることができた。自分達の今後に役立つであろう、良い話がきけたなと思いました。
- 今まで過労死について、深く考えたことはありませんでしたが、今回の話を機会に考えるいいきっかけになりました。過労死を出した企業が改善してくれる世の中になればいいなと思いました。
- 過労死がどのような物かわかっていなかったもので、今回の授業を通して学べた。労災についてわからないことだらけだったけどなんとなくわかった。仕事がつらいと思ったら我慢せずに上司などに一度勇気を持って相談した方がいいことがわかった。
- もうすぐ働くことになるので、今日聞いたことをしっかりと覚えて過労死などに気をつけたいと思った。
- 今日の授業を話を聞いて過労死による影響はすごいと思いました。大手企業だからと言ってホワイト企業ってわけではないということが分かりました。自分は春から就職するので過労やハラスメント、残業について詳しく学んで予習しておこうと思いました。

(中学校)

選択肢	件数
非常に役に立った	115
役に立った	86
あまり役に立たなかった	0
全く役に立たなかった	0



2. 今日の授業の感想を自由にお書きください。

- ・ 私自身も悩んでいたことがあったので、今日のお話を機に、誰かに相談してみようと思えました。本日はお忙しい中ありがとうございました。
- ・ 働く時に、大切なこと・働くときの基本など、将来役に立つことを教えて下さり、ありがとうございました。会社が守る「労働基準法」というものがあることを初めて知りました。また、東京都の最低賃金なども初めて知り、いろいろ勉強になりました。自分がアルバイトをする時などに、活かしていきたいと思います。
- ・ 謝るということの重要さがよくわかりました。仕事を選ぶときは慎重に決めたいなと思いました。社会に出ても決まりをきちんと守りたいなと思いました。社会に出たときに一人で悩まずに相談をしたいなと思いました。人に伝える大切さが分かった。
- ・ 社会保険労務士さんの話を聞いて、労働基準法を守れていない所が多いんだなと思いました。
- ・ 働くことについては様々な基準があり法律で決められていることを初めて知った。私が働くときには労働基準法にそった仕事をし、危険な仕事をしないように注意していきたい。失敗したら謝る。間に合いそうになかったら連絡する。困ったら相談するなど、労働者と学生の共通点はたくさんあるなと思いました。
- ・ 今日教わったことは、将来さまざまなときに役に立つことだなと思いました。貴重な体験をありがとうございました。
- ・ 仕事での対応、法律などを詳しくしることができた。困ったときのうごきなどもしることができた。
- ・ 少し難しかったですが、これからの社会においてとても役に立つ話なので、少し働くということに興味ができました。

3.3 派遣講師用実績報告書回収結果

派遣講師より回収した実績報告書の中から、授業について記載のあった問題点、気づいた点等を一部抜粋して紹介する。

その他（問題点、気づいた点等）

（大学）

- コロナ渦における感染予防と講義手法についてガイドラインなどがあれば良いと思った。
- 講師もマスク着けたままであり、聴き取りにくくなかったか。
- 今回は2コマの時間なので丁寧な講義ができた。質問時間もとれたので言いつ放しではなく、生徒さんとしっかり話すことが出来て良い講義になった。
- 学生の顔が見えないことや、スムーズにコミュニケーションが取れないことから、不安もあったが、大きな問題はなかった。
- 大学においては、オンラインでの授業が実施されていることから、コロナが収束するまでの期間は、オンライン実施を推奨する形も考えられる。

（専門学校）

- 学校側が、学生の席を離すなど、しっかりと感染予防をされていたので、安心して講義ができた。
- 遺族の講演がなかったのが残念。
- 過労死遺族の話について熱心に聞いていた。
- 講演時間が一人40分いただいたので丁寧にお話しできました。
- 画面越しに、熱心に聴かれている様子が伺えました。

（高等学校）

- 2019年度は広い研修室での講義でしたが、2020年度は新型コロナ感染拡大防止のため体育館で行いました。とても寒く、学校側のご配慮で、足下暖房やポットのお湯など準備していただきました。
- まじめにこちらを向いて話を聞いてくれている学生が多かったように思う。やはり遺族の方の体験談は、とてもリアリティがあり、学生の心にも響くように思った。
- 密を避けるため体育館で行ったので、学生は聞きづらいところもあったかもしれない。
- 本当に重要な点に絞って、具体例を交えて説明することが重要と感じた。
- O×クイズ形式にしたところ、生徒さんたちが自発的に左右のクラスメイトと相談して答えを考えてくれていた。このあたりの反応は学校によって異なると思うが、クイズ形式にするのは馴染みやすいかもしれないと感じた。

（中学校）

- 過労死遺族の方にお話をして頂き、生徒達には過労死問題についてより具体的にイメージを持ってもらうことができたと思います。

5. 課題

今年度事業の課題は次のとおり。

（事業周知・広報について）

- 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前期は啓発授業の実施が困難であった為、6月から周知広報を開始した。
- 周知広報はやや遅れ気味でのスタートとなったが、周知広報はできる限り早い方が良い。開講までには学校側での検討にかなり時間のかかる場合がある。
- 継続して申込いただけるケースも多く、実施実績のある学校への周知が大変効果的であった。

（授業について）

- 今年度は新型コロナウイルス感染症により、オンラインでの実施が多くあった。オンラインはいろいろなパターンがありその都度、やり方、環境等の確認が必要で、リハーサルを実施した学校も多かった。
- オンライン講義が初めての講師もいて、講師側の慣れが必要と感じた。
- 講師からの感想では学生さんの顔が見れなく、コミュニケーションがとりにくいとの意見があった。
- オンライン講義は全ての講師が対応できるとは限らないので、オンラインがさらに増えると講師手配が困難になる場合もあると感じた。